

【SPS 講座(つくばサイエンスツアー)報告】

〈AIST-Cube・地質標本館・食と農の科学館を訪問〉

実施日 : 令和 8 年 7 月 23 日(木) 9:00～15:00

内容(概要) : 中学生および高校生の希望者 15 名が参加しました。つくば駅に集合し、AIST-Cube、地質標本館、食と農の科学館(農研機構)の 3 つの施設を訪問しました。それぞれの施設が離れており、移動が少し大変でしたが、それぞれの施設で得られた知見は貴重なものとなりました。はじめに訪れた AIST-Cube では、布繊維にスピーカーの機能を重ねる技術の紹介やこれから世の中に出ていく最先端の技術開発の一端を紹介してもらいました(写真 1:スピーカー機能がある布、写真 2:内視鏡技術)。次に地質



標本館を訪れました。入ってすぐのエリアには、河川が形成する地形の模型(写真 3)の実験が行われていました。河川的作用により形成される扇状地や三角州の様子がわかる模型で担当の方による説明(堆積の様子)を聴き、授業で学習した内容(理科や社会)を深めることができました。その後、産総研の職員食堂にて昼食を各自でとり、バスで移動し、食と農の科学館へ移動しました。最後に訪れた食と農の科学館では、ジーンバンクの研究者による

ガイドを聴き、最新の農業の実態を知ることができました。ガイドは、生徒たちに質問しながら進める形式で、生徒は考えながら解説を聴くことができました。全体を通じて、新しい研究を知ることができたうえ、研究するとはどういうことか、研究することの楽しさを知ることができた企画となりました。



生徒たちの振り返り(抜粋、一部改変)

一番印象に残った施設は、地質標本館です。

今回の SPS 講座に参加した感想や学びになったことは、岩石の種類がたくさんあってびっくりしました。横ずれ断層や正断層、逆断層が頭では想像できていなかったのですがシミュレーションできる装置があってわかりやすかったです。

生活がよくなるためにいろいろ開発されていて環境によい素材なども作られてるなと感じましたがそれでもこのまま地球温暖化が進んでいかないか心配になりました。

もし、次の機会があったら訪れたい分野や施設は、惑星や衛星などの天文学を学べるところに行きたいです。

一番印象に残った施設は、AIST-Cube です。

今回の SPS 講座に参加した感想や学びになったことは、AIST-Cube で音が鳴る布や 3D ハプティクス技術など、さまざまな「ちょっと先の未来」を体験できてとても楽しかったです。少しずつ日常生活に用いられるようになってほしいと思いました。

また、食と農の科学館ではジーンバンクについての説明を聞いて、種子を半永久的に保存する技術がすごいと思いました。

もし、次の機会があったら訪れたい分野や施設は、JAXA 筑波宇宙センターや日本の宇宙開発の最前線に触れてみたいです。

一番印象に残った施設は、食と農の科学館です。

今回の SPS 講座に参加した感想や学びになったことは、最新の科学技術や農業の歴史を知ることができました。

もし、次の機会があったら訪れたい分野や施設は、歴史の資料館や経済に関する施設

一番印象に残った施設は、産総研です。

今回の SPS 講座に参加した感想や学びになったことは、AIST-Cube も地質標本館も食と農の科学館も今まで習った理科の知識を深掘りすることができていい経験になりました。特に産総研は世界を変えそうな発明がたくさんあり、障がい者の人にもよいものだと思います。

もし、次の機会があったら訪れたい分野や施設は、筑波大学の研究室などを訪れてみたいです。

以上